

第7回

11月26日

次年度以降の実務者会・専門部会の仕組み案について検討した。

PDCA・評価見直し

- ◆ 実務者会で取り組み案を企画し、次年度専門部会で実施。(2期担当制)
- ◆ 但し任期を強制しない。
- ◆ 実務者会・専門部会の合同会議開催
- ◆ 専門部会で自己評価を実施。実務者会評価は座談会等で上がってこなくなったら解決したと判断。

意見集約の仕組み

- ◆ 相談員、事業所職員、教育関係などによる地域課題についての意見交換会を開催する。
- ◆ 座談会を9月以降に開催する。
- ◆ 目安箱・フォームなどによる意見が集まる仕組みを併用する。
- ◆ 3つの聞き取りにより、次年度取り組み案を検討する。

第2回自立支援協議会本会議

第8回

12月23日

令和7年度座談会具体案について検討

- ◆ 令和7年度の専門部会は設置しない。
- ◆ 前半の専門職による座談会取りまとめを経て、後半の座談会との集約を進める。

過去の取り組み評価について

- ◆ 実務者会評価は座談会等で地域課題と上がってこなければ解決としたが、過去の取り組みについての評価を経て改善・改良は必要。目安箱やフォームを活用したい。

目安箱・フォーム・座談会の活用方法について

- ◆ 専門職による座談会は開催しない。
- ◆ やさしいお店においてもらう。
- ◆ フォームの質問を大枠で聞いて、分類してはどうか
- ◆ 今年度は回数が多かった。会議回数を減らせないか？

会議回数について

- ◆ 事務局からスケジュール案を提示し、年6回〜7回程度を目安に実施する。

目安箱・フォーム・座談会の活用方法について

- ◆ 目安箱やフォームと座談会を並行して行う。ターゲットは“障がいに関わりのある人”
- ◆ 目安箱の設置場所やフォームの内容については次回検討。
- ◆ 次年度の実務者会構成員について令和8年度を見越して増員する。

第10回

2月25日

第9回

1月28日

